

## 雑感

■勤労感謝の日が終わり、今日は週末1日だけの登校(勤務日)である。3年生にとっては、2学期最後のつらい週末になりそうだ。1年生と2年生は、職場体験(ゲストティーチャー)学習が終わり、体験した事のまとめに追われているようである■職場体験学習が始まったのは、阪神淡路大震災後、神戸市が働く大人たちを見て教育する「トライやるウィーク」として'98に始まったようだ。今では、全国的にキャリア教育の定番となっている。19年前の職種と現在と、どのくらい仕事内容は変わったのだろうか。ある学者が言うには、2030年問題に加えて世の中の仕事がコンピュータの出現以来、あらゆる仕事の機械化・自動化によって半数が消えていくと言っている。この15年間で一番減った職種は、農業従事者。逆に増えたのは介護士だという。今回の職場体験は、地域コーディネーターさん達がありあらゆる職業、実にその数99カ所もの事業所を見つけてくれた。聞くところによると4月1日から手分けして102カ所を回ってくれたとの事。本当にありがたい。その中には、バスや電車の整備・運転に関わる学習もあったが、これらの体験もこの先どうなっていくのか。■子どもたちの感想や事業所の方たちの話を聞くととても良い経験になっていることがわかる。接客業の大変さ、笑顔の大切さ、どの職種も大変だったろうと想像する。「働く」ことについて理解を深めてくれることを期待したい。■働くというのは～「傍」を「楽」にする。自分が働くことで周りにいる人が楽になるとの考えがある。体験中に「ありがとう」と声をかけられ人の役に立ったという経験は、教室では学べない教材である。凄まじい勢いで変わりゆく世の中、AIの出現によって職種が様変わりするかもしれないが、今の子どもたちが成人してもこの先、ロボットでなく人の声で「ありがとう」と言葉を交わしていきたい～そのような世の中であってほしい。■1・2年生の諸君は、来週辛い週明けとなりそうだが、頑張る姿は、傍を楽にするかもしれない。